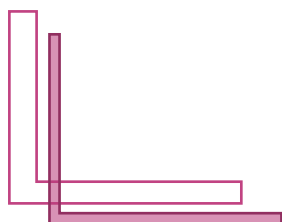
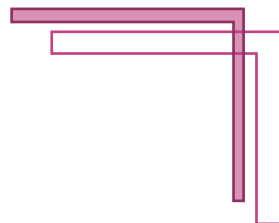


第2章

望ましい環境像と

施策体系



第2章 望ましい環境像と施策体系

1 望ましい環境像

「第六次筑紫野市総合計画」では、将来都市像を『自然と街との共生都市 ひかり輝くふるさと ちくしの』と掲げ、5つの政策を定めています。環境分野に係る政策は『未来をつくる ～自然と都市機能が調和するまちへ～』となっています。

本市の持つ自然環境と快適で安全な生活環境を未来の世代に継承するために、市民や市民団体、事業者、そして行政が協働し、より良い環境づくりに向けて取り組んでいきます。

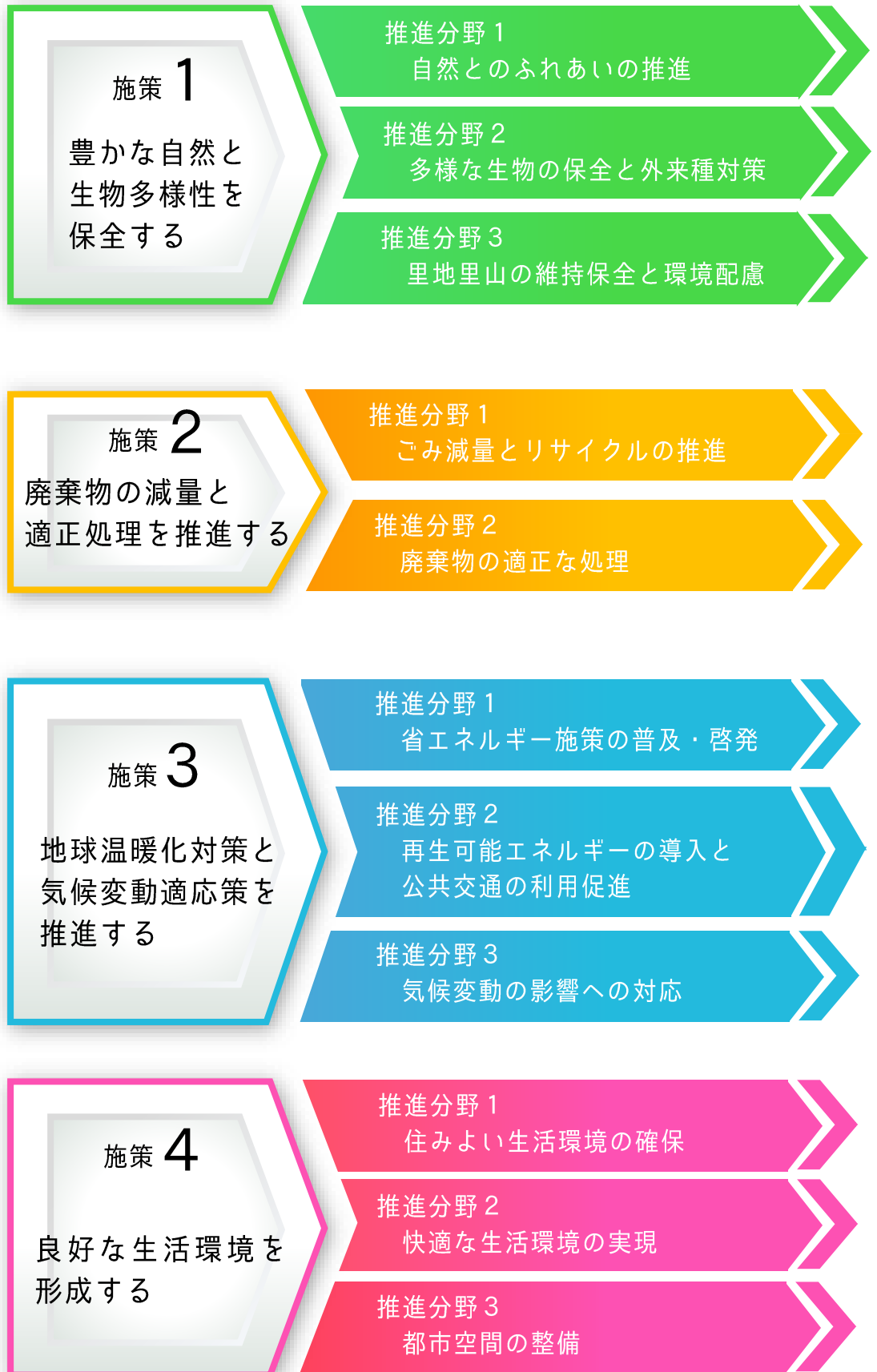
そこで、本市の望ましい環境像を、以下のように設定します。



2 施策体系

望ましい環境像「みんなでつくる みどり輝くふるさと筑紫野」

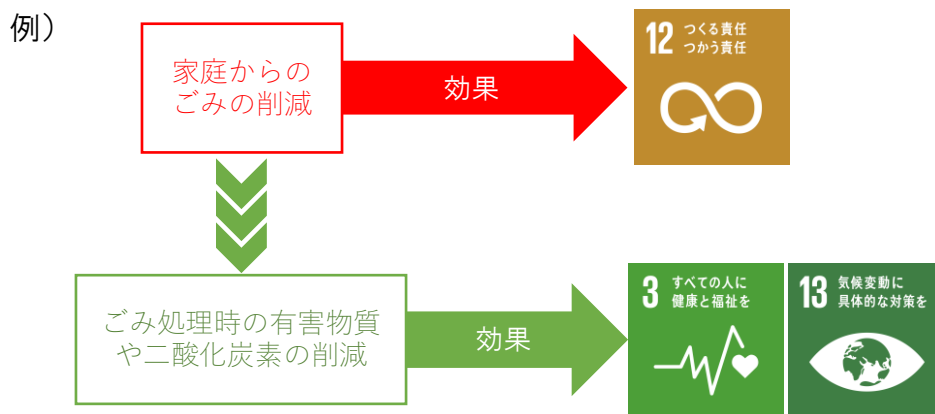
第2章



3 施策と持続可能な開発目標（SDGs）との関係

SDGsとは、Sustainable Development Goals の略で、持続可能な開発目標と訳されます。全世界で経済・社会・環境の3つのバランスが取れた社会を目指すための目標のことで、2015年に国連で採択され、2030年までに達成することを目指しています。全17の目標のうち、少なくとも12の目標が環境に関連しています。また、各目標は相互に関連しているため、1つの取組が複数の目標の達成に貢献することになります。

本計画においても、市が直面している環境問題を統合的に解決するため、SDGsの考え方を取り入れます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

